

# たくましい人材を輩出

2011年3月卒業生の就職決定率(就職希望者総数に対する数値)は80・4%(男子80・7%、女子78・4%)。東日本大震災で、企業の採用選考中止や内定取り消し、解雇が起きたが、学生たちは困難にめげずに就職活動を行っている。

本学では、学生たちが希望の進路を選択できるように、「就職支援」と「キャリア教育」の2つを柱に、学生一人ひとりの個性に応じた進路支援を行っている。1・2年次生にキャリアデザインガイド

## 就職支援

## 情報提供、講座など充実



▲ 昨年12月に行われた就職合宿。面接について学ぶ

を配布するなど、早期の活動準備を促している。本格的に活動が始まる3年次には経験豊富なスタッフが個別相談で業界研究・自己分析、エントリーシートの添削などに応じるほか「先輩の就職活動体験談」「合宿型面接対策」



## キャリア教育

働くことの意義を考えた機会を提供し、資格取得のバックアップが目的。単位認定科目として、実務を体験する「インターンシップ」と、さまざまな業種の経営者の生の声を聞き、社会や企業の理解を深める「キャリアデザイン」の2講座を開講している。

## 「就活バスツアー」学生13人が参加

7月6日から8日(2泊3日)まで、被災地の新卒者向けに実施した企業面接・説明会「就活バスツアー」が大阪市のインテックス大阪で開催された。これは近畿ブロック労働局・宮城労働局・仙大阪府雇用開発協会が主催した企画で、本学からは13人が参加。学生たちは、東証1部・大証1部上場企業をはじめ16社による「被災者向け企業説明会」と、約200社による「近畿ブロック大学等就職フェア2011」に出席し、内定獲得を目指し、自己PRに励んだ。

## 地域とともに未来をつくる「復興共生プロジェクト」始動

被災地の最前線で活動が続ける本学が地域復興のセンターとなり、地域とともに復興することを目指す「復興共生プロジェクト」を立ち上げた。このプロジェクトでは、宮城県や地元企業、大学などと連携し、石巻市や連携自治体(女川町、東松島市、登米市)の市町復興に協力。被災地域の防災と復興に関わる事業を行い、活動を通じて本学の教育と研究の高度化を図る▽復興を担う人材の育成▽共同研究拠点を設置し、学外研

## 人材育成、共同研究など 中長期の視点で積極活動

研究者・企業等が参画する共同研究プロジェクトを実施する、など中長期的視点に立って取り組む。すでに活動をスタートしており、共創研究センターは防災視察調査、大学開放センターは講演会を主催・支援し、経営学部の地域活性化研究会は「まちづくり懇話会」の開催など地域の方の意見収集を行っている。また大学として震災復興支援チャリティイベントに参加するなど、今後も積極的にアクションを起こしていく。

## 就職

### 模擬面接が生きた

機械工学科・山本憲一研究室 熊谷 慧祐さん (宮城県志津川高(株)ユアテック)

都合により写真は掲載いたしません

3年次の4月に「進路ガイダンス」に出席したことが第一歩で、その後は情報収集や自己分析に力を入れていました。

特に進路支援係でエントリーシートの添削のほか、模擬面接をしていたことがプラスになりました。面接試験で職員の方より厳しい面接官に出会うことはなく、面接を楽しめるようになり、その結果、自分の考えを伝えられるようになり、内定につながっています。

## 就職

### 大学生活の集大成

情報電子工学科・佐々木慶文研究室 小山 智大さん (宮城県古川工業高校(株)東日本旅客鉄道)

都合により写真は掲載いたしません

内定先のJR東日本は第一志望の企業。大学で学んできた技術を生かせること、人の役に立てる仕事ができるというのが

イトをして身につけた臨機応変な人との接し方もアピールしました。面接直前に、進路支援室のドアをたたき、進路支援係の職員の方に模擬面接をしていただきました。「謙虚さを忘れずに、自分の思うところを積極的にアピールしたらいい」とアドバイスされ、自信を持って面接に臨みました。

## 就職

### 積極的に動くこと

経営学科・茂木克昭ゼミ 佐藤 舞子さん (宮城県石巻市立女子高(株)北日本銀行)

都合により写真は掲載いたしません

就活で心がけていたのは「積極的に動くこと」。被災して避難所から面接会場に向かうなど、困難な場面にもかかわらず、自

分らしいものに仕上げていきました。また、昨年行われた「先輩たちの就職活動体験談」で、銀行の採用試験はSPI試験の難度が高いと言われ、早くから対策に取り組みました。

## バスツアーをきっかけに 関西圏での就職決まる

生物生産工学科・鈴木均研究室 木村 雅子さん (宮城県石巻市立女子高(株)万代)

地元での就職を考えていましたが、新聞に掲載された、特に独身寮や社宅が用意されていることは、ありがたいと思いましたが、また、その場で面接試験を受けることもできた。しかし、「今はチャ



▲ 学生やボランティアも聴講

同プロジェクトの一環として、7月19日には大学開放センターとアメリカ大使館の共催で、災害復興講演会「災害復興における地域コミュニティの役割」アメリカの経

## 大学開放センターと米大使館共催 災害復興講演会を開催

験から」を開催した。学生・教職員に加え、ボランティアや自治体職員らが出席し、米・パデュー大学政治学部のダニエル・アルドリッチ准教授による講演を聴講した。

## 育友会支部懇談会を開催

全12会場で開催中です(8月15日以降の日程は下表参照)。大学紹介や個別面談を実施。ご子女と一緒に参加もできます。 育友会係 ☎0225(22)5019

地区	支部	開催日	開催地
東北	北海道・青森	9月11日(日)	ホテル青森
	岩手(盛岡)	9月11日(日)	ホテルメトロポリタン盛岡
	宮城(石巻)	10月8日(土)	石巻専修大学
	宮城(大崎)	8月21日(日)	古川商工会議所
	秋田	9月4日(日)	アキタ・スクエア
	山形	8月21日(日)	ホテルキャッスル
福島	9月4日(日)	福島ビューホテル	